

つるせ 公民館だより 第507号



2023. 6. 1
6月号

編集 つるせ公民館だより編集委員会
発行 鶴瀬公民館 富士見市羽沢3-23-10
Tel 049-251-1140 Fax 049-251-1156



移設された鶴瀬駅の碑
*写真を一部加工しています



生まれ変わる鶴瀬駅東口 (4月13日撮影)

鶴瀬駅東口駅前広場

わがまち点描138

市の玄関口として、鶴瀬駅東口の駅前広場整備がようやく令和二年(2020年)から開始された。駅前広場は今年暮れにはほぼ完成予定とのこと。現在は駅東口を出るとぐるりとロータリーができ広々と感じる。まだ歩行者道路など整備されていない所もあるが、ほぼ全貌が見えてきた。バスやタクシーを待つ人々が、雨の時でも濡れないように屋根が出来る、乗降が便利になった。

以前は建物と線路の間にあり見えにくかった「鶴瀬駅の碑」と「鶴瀬停車場記念碑」が通りからすぐ見える場所に移設された。「長く鶴瀬に住んでいるが、この碑を見たのは初めて!」とじっと眺めている人がいた。人々の目に付く場所に移しても、え、よかったです。

近隣の住宅ビルや商店が取り壊され、今は更地になっている。見通しが良く行き来する電車が忙しそうに通っているのが見える。この更地にこれからどんな建物が立ち、どんなお店が出来るのだろうか?楽しみにしている。

変わりゆく鶴瀬駅東口周辺だが、人々が笑顔で行き交い、賑わいのあがる街になっていくことを願っている。

(小林)

公民館の利用について

- ★9月利用分については、
 - ①抽選の申込期間 6/15(木)~30(金)
 - ②抽選日(自動抽選) 7/1(土)
 - ③抽選結果の確認期間 7/1(土)~4(火)
 - ④窓口受付開始日 7/5(水) 9:00~(抽選当選分の本申請と新規受付)
 - ⑤システムによる仮予約受付開始日 7/6(木)

★ホールの一斉受付日
12月利用分 7/6(木) 10:00~

★休館日 6/19(月)

※くわしくは職員にお尋ねください。



第46期 富士見市民大学 開講式記念講演(公開講演会)

申込み受付中

演題 「教育者、偉大なるプロデューサーとしての岡倉天心」
講師 宮瀧 交二氏(大東文化大学文学部教授)
とき 6/10(土) 13:30~15:30 (13:00受付開始)
場所 鶴瀬コミュニティセンター ホール
定員 250名(申込順) ※手話通訳あり
※市民大学受講生・正会員の方も申込みが必要です。
参加費 無料
申込み 鶴瀬公民館に直接または電話で(平日9:00~17:00)

【お詫びと訂正】つるせ公民館だより第506号の3ページ公民館まつり交流部会長の氏名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤: 伊藤ちよ子さん → 正: 箱田満喜子さん

子育てサロン

0歳児から就園前の乳幼児とその保護者が対象です。

★親子はひとつるTime (申込み不要)

親子で遊べるスペースです。手遊び、紙芝居もします。サポーターママが待っています。0歳児のママもお気軽に。
とき 6/2・9・23 (いずれも金曜日) 10:30~11:45
場所 いきいき活動室

★げんきっこTime (申込み不要)

1才以上から3才くらいの子と保護者が対象です。集団遊びや、手遊び、工作など親子で一緒に遊びます。
とき 6/13(火) 10:30~11:30 場所 体育室
内容 七夕飾りつくりほか 指導 小林礼子さん

★おかあさんのほっとTime (要申込・保育付)

ママ同士、子育てのいろんなことを話しましょう。サポーターママの経験談も参考になりますよ。
とき 6/16(金) 10:30~12:00
場所 和室
定員 6名(保育も同じ)
申込み 6/2(金)~窓口または電話で(平日9:00~17:00)

★おかあさんのステップアップ講座 (要申込)

「親子で楽しむリトミック」

音楽に合わせて、いろんな音で遊びましょう!

とき 6/30(金) 10:30~11:30

場所 和室 定員 8組

講師 大澤 愛氏

対象 1歳から2歳くらいまでの子どもと保護者

申込み 6/9(金)~窓口または電話で(平日9:00~17:00)



健康スマイル講座「夏こそ摂りたい栄養素」

暑さに負けない食生活のポイントを学びましょう

とき 6/22(木) 10:00~12:00

場所 いきいき活動室

講師 イムス富士見総合病院管理栄養士

定員 20名(先着順) 参加費 無料

申込み 受付中



神定れい子コンサート(無料)

とき 6/22(木) 14:00開演(13:30開場)

場所 鶴瀬コミュニティセンター ホール

一人暮らしの精神疾患がある患者が内科的な病気で日常生活を送れなくなった時、一日中看護師が看護してくれる、病院ではないグループホームのような施設が都内に存在する。そこで居住して心温まる手厚い看護を受けられる。実際にその施設にお見舞いに行くのと、入居者は皆安心して穏やかに過ごしていた。精神疾患があると内科的な病気で入院が難しい。治療中動かずにじっとしていられたら、予測出来ない行動をすることが、場合によっては、命の危険に晒してしまうからだ。訪問診療の医師がいつでも何かあれば診察に訪れる。私は、人との繋がりや心のふれあいを促進する取り組みの他、こういう施設も必要があり、全国的に増やしていけたら良いと思う。

(伊勢田)

編集委員雑感

高齢者サロン

場所 いきいき活動室

お体に不安のある方、友達のほしい方、お気軽にお越しください。

★ひだまりほっとたいむ (すべて木曜日)

とき 6/1・8・15 (すべて13:30~15:00)

★ホッと安心健康相談 (無料)

血圧測定や保健師の相談コーナーがあります。

とき 6/8(木) 13:30~15:00

★いきいきたいむ (無料)

♪うたごえサロン (すべて火曜日、13:30~15:00)

とき 6/6・13・20

♪おしゃべりサロン (すべて水曜日、13:30~15:30)

とき 6/7・14・21・28

げんもりかん映画会

「心の傷を癒やすということ 劇場版」

阪神・淡路大震災の後、被災者の“心のケア”のパイオニアとして奮闘し続けた精神科医のヒューマンドラマです。

とき 6/17(土)

10:00・14:00・18:00

(いずれも30分前に開場)

場所 鶴瀬コミュニティセンター
ホール

参加費 前売券800円(当日券1,000円)
※チケットは鶴瀬公民館で販売中。
電話予約も可。
(平日9:00~17:00)



富士見市市民人材バンク20周年記念写真展

とき 6/16(金)~29(木) 9:00~21:50

*16日は10:00開始、29日は16時終了

場所 鶴瀬公民館 ロビー

公民館の達人

定年退職後の30年間を“公民館通い”で楽しく過ごしていらっしゃる、細川 豊亮さん(90歳)をご紹介します。「元気でいられるのは公民館の力が大きい」と言い切る達人の言葉に耳を傾けてみましょう。



サークル「おやじの料理」で“とりマヨ”を作る細川さん



定年退職を記念して彫った等身大の観音像(1994年)

木彫りとの出会い

転勤族の私は、昭和五十六年(一九八一年)に富士見市に転入しました。仕事人間で趣味はなく、毎日、家と職場を往復するだけの人生は味気ないと思っていました。そんなある日、妻が街なかで木彫り教室を見つけました。木の香りが漂う薄暗い部屋には所狭しと並んだ仏像と大柄の男性の姿。木彫りの師匠との運命的な出会いでした。妻とともに毎月指導を受けて通うことになりました。政府系金融機関に勤めていた私とは世界観の異なる場所でした。

公民館との出会いは「おやじの料理」

そして、木彫りを通して地域の仲間と出会い、そこから公民館活動へと行動範囲が広がりました。

高校野球に学ぶ

私は盛岡で高校生だったときに野球部で二番バッターのセカンドでした。

忘れもしない高校三年生の夏。全国高校野球大会で我が盛岡一高の野球部は岩手県大会で優勝したものの、奥羽大会の決勝で一対〇、しかも延長二十四回まで戦いながら負けたのです。

私は二番バッターの役目を守り、県大会から奥羽大会まで犠牲バントは一度も失敗しませんでした。高校野球で培った、粘り強い不屈の精神と仲間を大事にする気持ちは今でも生きています。

公民館は“市民の宝”

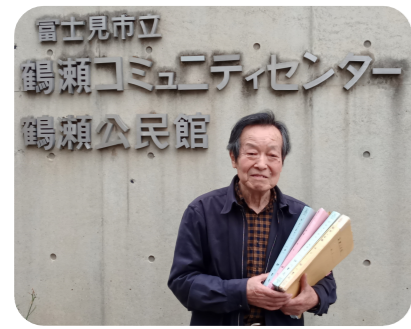
鶴瀬公民館の活動では、「おやじの料理」の他、映画上映グループ「げんもりかん」や平和・憲法啓発事業「ピースフェスティバル」に関わっているのです。週に二回くらいは公民館に通っています。この公民館通いにも高校野球の精神が生きています。事務室に顔を出し、職員とコミュニケーションを取ります。

公民館は、先の大戦の後に平和で民主的な日本をめざし郷土再建の拠点として、設置が呼びかけられました。「ひとしく教育を受ける権利」(憲法第二十六条)を保

障する教育機関です。人が集まり、交流することですいろいろなことが学べます。公民館の何が楽しいのか?それは「自由に物が言える」ことが大きいのです。名刺も要らず、年齢も関係なく「人と人をつなぐ」場です。この“市民の宝”をこれから



細川さんが彫った仏像 ※左端の仏像の高さは35センチメートル



ほそかわ 豊亮さん プロフィール

- 1933年 岩手県盛岡市生まれ
- 1981年 転勤で富士見市に転入
- 1983年 市内の木彫師に師事。
- 1993年 定年退職、サークル「おやじの料理」旗揚げ。
- 2001年 映画上映サークル「げんもりかん」第1回上映会。この頃、ピースフェスティバル実行委員会にも関わりはじめる。



二〇〇八年三月の「げんもりかん」 ※後列右端が細川さん

取材を終えて(編集委員より)

◆リタイア後の人生を、趣味の木彫り、また「おやじの料理」講座との出会いから、しなやかに地域にとけこみ、さらに活動の場を広げられる柔軟性と、個を持つ人間的な強さが印象に残りました。

◆定年退職後は毎日、栄養満点の朝食を作っているとのこと。なかなかできることではないです。

◆九十歳とは思えない若々しいお姿にびっくりしました。会社でのタテ社会ではなく、ヨコのつながりを大切にしているとのこと。公民館の良さは、人と人をつなぎ、人から学べる交流の場であると共感しました。



活動記録のファイルを持って取材に臨んだ細川さんと公民館だより編集長